

表 京都市の地域区分の現状と課題

| 生態系      |    | 供給サービス<br>〔「人に必要な物を与える」<br>・・・肉・野菜・米，繊維・革，木材など〕             | 調整サービス<br>〔「人が安心して暮らせる環境を作る」<br>・・・水質浄化，洪水調節，気候調整など〕 | 文化サービス<br>〔「人の心に豊かさを与えてくれる」<br>・・・癒し，芸術など〕                      | 基盤サービス<br>〔「生きもののすみか・環境」<br>・・・酸素の供給，生息・生育環境の提供など〕    |
|----------|----|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 奥山<br>里山 | 特徴 | ・木材の提供                                                      | ・野生動物と人との緩衝帯として機能<br>・灌水制御<br>・水質及び土壌浄化              | ・現在も伝統的な祭りなどで利用（種として，<br>あるいは借景として）されている。<br>・レクリエーションの場の提供     | ・土壌形成，酸素の供給                                           |
|          | 課題 | ・水源涵養力の低下<br>・京松茸減少                                         | ・水，土壌の調節機能低下                                         | ・チマキザサ，フタバアオイなどの減少<br>・借景としての文化的価値の減少<br>・ナラ枯れ，マツ枯れ             | ・種の多様性の減少                                             |
|          | 要因 | ・利用低減      ・管理放棄      ・大型哺乳類の増加（獣害）                         |                                                      |                                                                 |                                                       |
| 農耕地      | 特徴 | ・京野菜の栽培<br>・京料理の素材を提供してきた                                   | ・様々な生物の生息地として重要な役割を担っている。                            | ・現在も伝統的な行事などで利用されている                                            | ・北部，西部等の農耕地は樹林とセットで残されており，貴重なエコトーン（移行帯）の生息環境として機能     |
|          | 課題 | ・伝統野菜の減少                                                    | ・水の調節機能の低下                                           | ・草地の在来種の減少<br>・オケラ参りに利用されるオケラの減少                                | ・分断化による小面積化<br>・生物の生息生育環境の減少                          |
|          | 要因 | ・農地の放棄    ・耕作者の減少    ・市街地化    ・外来種の増加                       |                                                      |                                                                 |                                                       |
| 都市緑地     | 特徴 | ・人がくらしの中で自然（からの癒し）を感じられる。                                   | ・ヒートアイランド現象の緩和                                       | ・庭園や社寺林の文化的な価値を守るべき環境として認知<br>・伝統的行事が行われている場<br>・散策，子供の遊び場として提供 | ・優れた水辺のデザイン等，人為的に継続管理されることで，コケ・シダ類の貴重なハビタット（生息地）として機能 |
|          | 課題 | ・社寺林や京町家の減少による緑地の減少<br>・維持管理の不足                             | ・気候の調節機能の低下<br>・洪水の調節機能の低下                           | ・環境（景観）が単調化<br>・ナラ枯れによる景観劣化                                     | ・種の多様性の減少<br>・トウネズミモチ，シンジュ等（侵略的外来種）増加                 |
|          | 要因 | ・舗装面が多い    ・公園が少ない    ・温暖化による乾燥    ・経済性の重視（樹種の選定等）          |                                                      |                                                                 |                                                       |
| 水域       | 特徴 | ・京料理の素材を提供してきた                                              | ・街中に小さな水路が多く，洪水発生の危険性を緩和している                         | ・扇状地の湧水環境を活かした名水                                                | ・疎水を利用した庭園の池は魚類の貴重な生息環境として機能<br>・暗渠化した地点が多い           |
|          | 課題 | ・淡水魚利用の低下                                                   | ・生物の生息環境，防災機能が発揮できていない<br>・雨水浸透面の減少                  | ・湧水の減少                                                          | ・種/個体数の減少                                             |
|          | 要因 | ・ため池等の一時的な水辺の減少    ・アスファルト舗装等による非透水地の増加    ・利用低減    ・外来種の増加 |                                                      |                                                                 |                                                       |